

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	佐藤 博樹	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe603	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

● 授業のねらい

本ゼミでは、ゼミナール ・ に続き、DX(Digital Transformation)が急進展する社会で活躍するビジネスパーソンに必ず求められる情報活用力、BI(Business Intelligence)の基盤を「Excelを活用したビジネスデータ分析力」とみなし、実践的な仮想データの処理を通して分析力の獲得を目指します。さらに本ゼミナールでこれまで修得したスキルを踏まえて、現在世界的に急速に普及してきているBIツールである「Microsoft Power BI Desktop」を導入し、操作の基本と応用テクニックを習得して、企業のDXにスムーズに対応できる能力を効率よく養成します。

● 到達目標

ビジネスデータ分析手法ごとの分析目的、データ処理手順、結果読み方等をExcel 2019の操作テクニックと併せてマスターすることで、ビジネスデータに含まれる情報を目的に応じて自在に取り出し、活かせるようになる。
「Microsoft Power BI Desktop」の操作・活用方法をマスターする。
上記の学修過程で、学内無線LAN(WiFi)のアクセスポイントを経由してオンライン上の最新のサービス経営データや情報サービスに数多くアクセスし、効率的にICT（情報通信技術）を利活用できるようになる。

● 授業内容

- 1週目 アンケートデータから改善項目を見える化する（CSポートフォリオ分析を理解し活用する）
- 2週目 なぜ企業は経営分析をするのか（財務3表を理解する）、貸借対照表は資金の流れを見る決算書（貸借対照表のしくみを理解する）
- 3週目 損益計算書は企業の利益や収益性を見る決算書、利益には5種類のバリエーションがある（損益計算書のしくみを理解する）
- 4週目 キャッシュフロー計算書でキャッシュの流れをみる（キャッシュフロー計算書のしくみを理解する）
- 5週目 企業の財務の推移を表現する！（比較損益計算書を作成する）
企業の基本的な実力を評価する！（売上高と利益の成長率を検討する）
- 6週目 企業の収益性、資本と利益の関係から儲かっているかを検討する（売上高経常利益率、ROAとROEで収益性を評価する）
- 7週目 設備投資を実施するべきか否かを判断する（投資の限界効率、内部収益率等を理解し活用する）
- 8週目 Microsoft Power BIをマスターする（Business IntelligenceとBIツール、Microsoft Power BIの概要）
- 9週目 Microsoft Power BIをマスターする（レポートの視覚化機能）
- 10週目 Microsoft Power BIをマスターする（レポートの探索機能）
- 11週目 Microsoft Power BIをマスターする（Power BI Desktopによるデータの整備）
- 12週目 Microsoft Power BIをマスターする（Power Queryエディターによるデータの整備）
- 13週目 Microsoft Power BIをマスターする - 1（・花粉の飛散量の推移を調べてみよう、・気温の平年との差を調べてみよう）
- 14週目 Microsoft Power BIをマスターする - 2（・酒類の輸出額の推移を調べてみよう、・ビール類の販売量の推移を調べてみよう）
- 15週目 Microsoft Power BIをマスターする - 3（・経営ダッシュボードを作成しよう）
- 16週目 作成した課題に関する総合的な講評を行う。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・予習と復習は、基本的にテキストと学内無線LAN(Wi-Fi)を通して配付される講義資料を熟読し、併せてmanabaで配信されるオンデマンド動画教材を視聴して理解を深めること。
- ・予習：毎回の授業で指示された箇所を予め熟読し、manabaで配信されるオンデマンド動画教材を視聴しておくこと。(90分程度)
- ・復習：manabaで配信されるオンデマンド動画教材を再度視聴し直すこと。
- ・予習・復習等においては、講義資料や学内無線LAN(Wi-Fi)を使用してオンライン上から入手した最新のサービス経営データや情報サービスを活用して課題に取り組む。

● 成績評価の方法・基準

- ・成績は、学習姿勢、データ処理の実践能力、授業で作成した課題ファイルの完成度合等で総合的に評価します。
- ・成績評価に際しては、授業態度も判定要因とすることがあります。

● 履修上の留意点

- ・講義は原則として対面で実施し、オンデマンド動画教材も同時に配信します。
- ・授業中も随時指導しますが、基本的に毎回パソコンを使用するのでコンピュータ・リテラシー ・ の内容をしっかり理解しておくこと（特にExcel 2019の表計算、グラフ機能、データベース機能を使用）。
- ・講義の受講時におけるマナー・注意事項について注意を受け、改善の兆しがない者は不合格となることがあります。

● 課題に対するフィードバックの方法

- ・個々の課題ファイルの完成度合に関する講評は、原則として適宜行います。

● テキスト

- ・上村有子『Power BI 完全ガイドブック』（技術評論社）2,640円
- ・自作の資料を配付します。

● 参考書

- ・片平毅一郎著『Microsoft Power BIの教科書 第2版』（秀和システム）2,420円

● 更新日付

2025/01/31 03:58